



●レスリング少年男子グレコローマンスタイル92kg級決勝 足大付高の植木(上)がローリングで得点を奪う=足利市のFUKAI SQUARE GARDEN足利、田井伎撮影 ●剣道成年男子で優勝し笑顔を見せる本県選抜チームの(左から)大島、藤原、鈴木、市川、大平=5日午後1時50分、宇都宮市のユウケイ武道館、菊地政勝撮影

動画は電子版・SOONで

第77回国民体育大会「いちご一會とちぎ」
I SQUARE GARDEN足利ほかで
立った。レスリング少年男子グレコローマン
高)が初優勝。剣道は成年男子が初制覇し、
種別を独占した。卓球成年女子は47年ぶり3
の作新学院は決勝で鹿児島実(鹿児島)と0



県勢4競

レスリング
少年男子 植木
(足大付高)

成年男子

剣道

成年女子

卓球

下野新聞
しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686
下野新聞社
電話 028-625-1111
郵便振替口座 00180-1-623433
©下野新聞社2022

植木、強さ絶対的

高校最後 1分43秒決着

少年男子グレコローマン92kg級

レスリング

レスリング人生初のうれし
涙だつた。少年男子グレコローマンスタイル92kg級を制した植木優斗(足利大付高)は関係者と抱き合ひ号泣。「今まで携わってくれた人たちが居なければ自分はここに立つ

雷光



幕だつた。

8月の全国高校生グレコ

ローマンスタイル92kg級決

勝 足大付高の植木が優勝

を決めガッツボーズ!足利

市のP.U.KAI SQUA

RE GARDEN足利

田井伎撮影

迷いも吹っ切れた。

優勝候補筆頭として「か

つてない重圧」と向き合い、

それを打ち破つたことから

「先につながる経験になつ

た」と晴れやかな表情を見せ

た植木。高校最後の最高の舞

台で、この先も続くレスリン

グ道の礎となる財産を手に入

れた。

てない」。表彰台の頂で感謝の思いがあふれた。王者らしい試合運びだった。決勝の相手は、植木の对抗馬と目された選手を破つたダークホース。攻防の難度が増すとされる「けんか四つ」の組み手争いを問題にせず、相手の技の起点となる左手を巧みに抑え、元団体で優勝のみを目指すたる「小学生から意識した」地元団体で優勝のみを目指すため、プライドもかなぐり捨て、歓喜に沸くスタンンドを指した。わずか1分43秒の終

最初に獲得したグラウンドポジションで「絶対に終わらせん」つもりで放つたのが口頭で「決勝で高校初タイトルを獲得した」とで、フリースタイルの名手は種目転向を決めた。

「小学生から意識した」地元団体で優勝のみを目指すため、プライドもかなぐり捨てた選択。「ずっと自指してきました。だからが庄着だつたんだろ」。仲間の後押しに、

(伊藤慧)